たてばやし

第222号 市議会だよ

編集:館林市議会報編集委員会

12月

館林市個人情報の保護に関する 法律施行条例など 23 議案が決まりました

主な掲載記事

- **●本会議のあらまし …………**
- 議員個人の賛否結果一覧表・・・・
- 一般質問(10人)
- 常任委員会の審査報告

館林市議会ホームページ

https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html

市民の皆さまへお願い♥

手洗いや咳エチケットを徹底し 引き続き [3密] を避けるように してください。



新型コロナウイルス感染症情報はこちら ▮



れました。 その他、

議員提出議案1件、

請

願1件の審議が行わ

も含め24件で、 15 この定例会に市長から提案された議案等は追加 日までの14日間の会期で開かれました。 令和4年館林市議会第4回定例会は、 承認、 可決されました。 審議の結果、 いずれも原案のとおり同 12 月2日 議案 から

、事案件

つき全員一致で同意されま 求められたもので、 により、 て、人権擁護委員法の規定 二丁目)を推薦したいとし 後任に上山晴美さん(松原 もって満了となることから、 期が、令和5年3月31日を 美子さん(加法師町)の任 き意見を求めることについ て=人権擁護委員の森田恵 人権擁護委員の推薦につ 議会に対し意見を 推薦に

て=人権擁護委員の大朏輝 き意見を求めることについ ▽人権擁護委員の推薦につ さん(細内町) の任期が、

> されました。 推薦につき全員一致で同意 意見を求められたもので、 満了となるが、再推薦した 令和5年3月31日をもって いとして、人権擁護委員法 規定により、議会に対し



条例の制定

法律の施行により、 夕 関する法律施行条例=デジ 関係法律の整備に関する ル社会の形成を図るため 館林市個人情報の保護に 個人情

ようとするもので、

全員

とするもので、

全員一致で

本条例の一部を改正しよう

もので、 従来、 れました。 本条例を制定しようとする ための規定を整備するため により、 護制度の運用が始まること 合され、 の保護に関する法律」に統 年4月1日から「個人情報 報に関する規律が、 れぞれ分かれていた個人情 民間事業者等について、そ 行政法人等、 が改正されることに伴 の保護に関する法律 国の行政機関、独立 全員一致で可決さ 新たな個人情報保 同制度に対応する 地方公共団体 **令和** 5

より、 ることに伴い、 情報の保護に関する法律施 係る審査請求について調査 わせて、 人情報保護条例の廃止にあ 行条例の制定及び館林市個 する法律の一部が改正され 整備に関する法律の施行に 成を図るための関係法律 会条例=デジタル社会の形 館林市個人情報保護審査 議等する附属機関を設置 個人情報の保護に関 新たに個人情報に 本条例を制定 館林市個人 0

> の一部が改正されることに デジタル社会の形成を図る 条例の整備に関する条例= 致で可決されました。 する法律の施行により、 ための関係法律の整備に関 ▽個人情報の保護に関する 人情報の保護に関する法律 関係条例の 部改正に伴う関係 部を改

法律の一

ら令和13年度にかけて「65 職員の定年を令和5年度か なったことを踏まえ、 的に引き上げられることと 等の改正により国家公務員 れているが、国家公務員法 して条例で定めることとさ 国家公務員の定年を基準と 内容は、 とに伴い、関係条例におい いて、地方公務員の定年は て所要の改正を行うもので 正する法律が施行されるこ 定年が「65歳」まで段階 地方公務員法にお 本市

> 改正と、1つの条例を廃止 例として、13の条例の一部 るなど、国家公務員と同様 決されました。 するもので、全員一致で可 るため、また、整備対象条 の定年延長等の措置を講ず 歳」まで段階的に引き上げ

条例の改

整備などを行うもので、

全

正し、文言の整理、

規定の

推進計画に掲げる事業につ と納税基金を設置するため 条例に新たに企業版ふるさ ることができるように、本 同事業の財源として活用す 市まち・ひと・しごと創生 府から認定を受けた、館林 改正する条例=本市が内閣 しようとするもので、全員 ため、本条例の一部を改正 支給の適用要件を緩和する 勤職員に対する退職手当の 手当の取扱いに準じ、非常 る条例=国家公務員の退職 関する条例の一部を改正す ▽館林市基金条例の一部を 致で可決されました。 館林市職員の退職手当に 企業からの寄付金を

=地方公務員法の一部を改

係条例の整備に関する条例 正する法律の施行に伴う関 ▽地方公務員法の一部を改 員一致で可決されました。 定管理者が季節や繁閑など

柔軟な料金設定が

定める額を限度として、

できるようにするため、

部を改正しようと

付職員についても国家公

全員一致で可

(3)

療費に係る助成の規定を削

決されました。 するもので、

より所要の改正をするため 務員及び群馬県職員の例に

高校生世代の入院医

可決されました。 とするもので、 本条例の一部を改正しよう 良保育園を廃止するため、 も園に統合する館林市立長 変更するとともに、 称をそれぞれ、 北幼稚園及び東幼稚園の名 置するに当たり、 ども園及び東こども園を設 5年4月から館林市立北こ こども園及び東こども園に 部を改正する条例=令和 館林市立学校設置条例の 全員一致で 館林市立北 館林市立 北こど

ついても無料化となること 費に加えて、 ては、これまでの入院医療 者に拡大するもので、これ 後の最初の3月31日までの 代である18歳に達する日以 者の年齢要件を、 祉医療費における助成対象 令和5年4月1日から、 例の一部を改正する条例= 成条例の一部を改正する条 例及び館林市福祉医療費助 館林市福祉医療費助成条 高校生世代につい 通院医療費に 高校生世

例 平成4年に制定された本条 ミナルの利用再開に当たり、 る条例=サイクリングター ミナル条例の一部を改正す 全員一致で可決されました。 を改正しようとするもので を行うため、 整備するほか、 ▽館林市サイクリングター 除するなど関連する規定を の事業内容、 本条例の一部 使用料等の 所要の改正

当該施設の設置目的におい 施設の利用料金を、 とするため、さらに、当該 管理者が施設を運営した場 として本条例に定め、指定 施設の休館日を通年の開館 事業運営を必須条件としな 見直しを図るもので、まず、 合に、年末年始も営業可能 これまで規則で定めていた いようにするため、また、 サイクリングに特化した 自転車の貸し出しなど 別表に



サイクリングターミナル南側

追加議案

なるよう配 勉手当の支給月数が均等に 支給月数を0・10月分引上 のとし、また、令和4年12 て平均0・3%引上げるも 令和4年4月1日に遡及し び若年層に重点を置いて、 職員の給与月額を初任給及 定を踏まえ、本市一般職の 員及び群馬県職員の給与改 を改正する条例=国家公務 の特例に関する条例の一部 任期付職員の採用及び給与 る条例及び館林市一般職の ▽館林市職員の給与に関す 月期に支給する勤勉手当の 令和5年度以降につい 6月期と12月期の勤 分するほか、任

たもので、

全員一致で可決

議会に対し議決を求められ 路法第10条の規定により、

されました。

とするもので、 配分するため、

> されました。 たもので、

議会に対し議決を求められ 道路法第8条の規定により なる4路線を認定するため、

全員一致で可決

その他の議案

館林北部第四工業団地造成 路線の路線廃止について= ▽市道2077号線ほか5

とするもので、 本条例の一部を改正しよう 全員 線及び起終点の変更となる 4路線を廃止するため、 に当たり、

不用となる2路

可決されました。

部を改正しようとするもの 期末手当が均等になるよう の支給月数を0・10月分引 支給する特別職の期末手当 準じて、 の一部を改正する条例=本 で、賛成多数で可決されま いては、6月期と12月期の 市職員の勤勉手当の改定に 末手当の支給に関する条例 館林市特別職の職員の期 令和5年度以降につ 令和4年12月期に 本条例の一

に当たり、

起終点の変更と

路線の路線認定について= ▽市道2077号線ほ

か3

館林北部第四工業団地造成

可決されました。 の一部を改正する条例=本 本条例の一部を改正しよう 給料月額を改定するため、 第2号会計年度任用職員の 市職員の給与改定に準じて 用職員の給与に関する条例 ▽館林市第2号会計年度任 全員 致で

> されました。 たもので、 議会に対し議決を求められ 路法第8条の規定により、 線として認定するため、 線を新たに市道8505号 替えに伴い、新設される路 認定について=江川橋の架 ▽市道8505号線の路線 全員 一致で可決 道

専決処分

館林市一般会計補正予算 ことについて(令和4年度 (第5号)) =電力・ガス・ 東決処分の承認を求める

負担増を踏まえ、

特に家計

食料品等の価格高騰による

致で承認されました。 求められたもので、 により、 した補正予算の専決処分に に4億2606万円を追加 施するため、 騰緊急支援給付金事業を実 力・ガス・食料品等価格高 への影響が大きい低所得者 給付金の支給を行う、 地方自治法の規定 議会に対し承認を 歳入歳出予算

予算に3億1325万40 を実施するため、 食料品等価格高騰対策事業 の支給など、 者・民間保育所等・介護サ 障がい福祉サービス等事業 のクオカードの配付、また、 象に1人当たり3000円 援するために、 ている市民及び事業所を支 生臨時交付金を活用しなが ウイルス感染症対応地方創 **算(第6号)=**新型コロナ 度館林市一般会計補正予 ことについて(令和4年 ▽専決処分の承認を求める ・ビス事業所等への支援金 物価高騰の影響を受け 電力・ガス・ 全市民を対 歳入歳出

> に対し承認を求められたも 自治法の規定により、 の専決処分について、地方 0 ました。 ので、全員一致で承認され 0円を追加した補正予算

補正予算

ので、全員一致で可決され 45万3000円とするも 額をそれぞれ320億10 追加し、歳入歳出予算の総 億6126万3000円を 当面予算措置を要する経費 伴う光熱水費の追加、また、 ネルギー価格高騰の影響に の受入れに伴う予算化、 国県支出金の内示、寄附金 について補正するため、8 会計補正予算(第7号) 令和4年度館林市 エ Ш

追加議案

をそれぞれ319億815 額し、歳入歳出予算の総額 2887万4000円を減 員給与の組替えなどにより、 職員の給与改定、退職手当 会計補正予算 > 令和4年度館林市 人事異動に伴う職 (第8号) Ш

7万9000円とするも 全員一致で可 決され

0

可決されました。 とするもので、全員一致で 82億1824万3000円 歳出予算の総額をそれぞれ 1000円を追加し、歳入 費の補正のため、391万 組替えなどによる職員人件 康保険特別会計補正予算 ▽令和4年度館林市国民健 人事異動に伴う職員給与の (第1号)=職員の給与改定

ので、全員一致で可決され の総額をそれぞれ71億17 円を減額し、歳入歳出予算 の補正のため、 替えなどによる職員人件費 事異動に伴う職員給与の組 号)=職員の給与改定、 険特別会計補正予算 (第2 12万8000円とするも > 令和4年度館林市介護保 1 0 2 8 万 人

ため、 による職員人件費の補正の 動に伴う職員給与の組替え 事業会計補正予算(第1号) ▽令和4年度館林市下水道 | 職員の給与改定、人事異 収益的収支予算にお

> 円を追 全員一致で可決されました。 円を追加し、12億7432 においては、31万7000 万円とし、 万1000円とするもので、 いては、 加し、 118万700 資本的支出予算 13億8169 0



マンホールの蓋

議員提出議案

制定しようとするもので、 関する条例を設ける必要が 会独自で個人情報の保護に 改正されることに伴い、議 保護に関する法律の一部が 生じたことから、 の施行により、個人情報の 係法律の整備に関する法律 社会の形成を図るための関 護に関する条例=デジタル 館林市議会個人情報の保 本条例を

安全・安心の医療・介護

により不採択となりました。

全員一致で可決されました。

いて、国に対する意見書を

決議してほしいというもの

採決の結果、

賛成少数

解消のため、また、自然災 ロナウイルス感染症の拡大 以上の4つの請願項目につ 者の負担を軽減すること」 充すること」「患者・利用 設などの公衆衛生体制を拡 の拡充・強化や保健所の増 えるため、 たな感染症や災害対策に備 抜本的に改善すること」「新 制労働に関わる労働環境を 介護現場における夜勤交代 を支援すること」「医療や ためのケア労働者の賃上げ 増員と安定した人員確保の 抜本的な見直しによる大幅 介護職員などの配置基準の 求めるため、「医師・看護師 る公立・公的病院や保健所 ため、その対策の中心とな 害や新たな感染症に備える 療や介護職員の人手不足の 護崩壊」の原因となった医 による「医療崩壊」や「介 善を求める請願書=新型コ 実現のため人員増と処遇改 の拡充など機能強化を強く 公立・公的病院

議員個人の賛否結果一覧表 (第4回定例会)

ا يحر پرور	凹八の貝口 旧木 見む	×	_		쁘		_	_		1										
	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	-
議案等	議 員 名	小林但弥	池森のり子	飯島一志	岡野陽子	堀口きく枝	岩上博志	野本泰生	田辺純子	柴田信	平井玲子	川村幸人	渋谷理津子	権田昌弘	斉藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	結果
諮 問 第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める ことについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	推薦に つき 同意
諮 問 第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める ことについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	推薦に つき 同意
議 案 第52号	専決処分の承認を求めることについて(令和 4年度館林市一般会計補正予算)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	承認
議 案 第53号	専決処分の承認を求めることについて(令和 4年度館林市一般会計補正予算)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	承認
議 案 第54号	館林市個人情報の保護に関する法律施行条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第55号	館林市個人情報保護審査会条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第56号	個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第57号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第58号 議 案	館林市職員の退職手当に関する条例の 一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案 可決 原案
第59号 議 案	館林市基金条例の一部を改正する条例 館林市立学校設置条例の一部を改正する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	可決 原案
第60号	条例 館林市福祉医療費助成条例及び館林市福	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		_	0	0	0	0	0	可決
議 案 第61号	社医療費助成条例の一部を改正する条例 の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	\bigcirc	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 第62号	館林市サイクリングターミナル条例の 一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案 可決
議 案 第63号	市道2077号線ほか5路線の路線廃止について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案 可決
議 案 第64号	市道2077号線ほか3路線の路線認定について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第65号	市道8505号線の路線認定について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第66号	令和4年度館林市一般会計補正予算(第7号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案 可決
議 案 第67号	館林市職員の給与に関する条例及び館林市 一般職の任期付職員の採用及び給与の特例 に関する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案 可決
議 案 第68号	館林市特別職の職員の期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	_	0	•	0	0	0	原案可決
議 案 第69号	館林市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第70号	令和4年度館林市一般会計補正予算(第8号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第71号	令和4年度館林市国民健康保険特別 会計補正予算(第1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第72号	令和4年度館林市介護保険特別会計 補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議 案 第73号	令和4年度館林市下水道事業会計 補正予算(第1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
議提議第2号	館林市議会個人情報の保護に関する 条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	原案可決
請願第1号	安全・安心の医療・介護実現のため 人員増と処遇改善を求める請願書	•	•	•	•	•	•	•	0	•	•	•	•	_	0	0	•	•	•	不採护
/ / E	ひ詳しいが決に加わりませんので「一	L	<u>.</u>	-,		_									•	· ·	ee . b		_	트 관 [

市政を問う!!

飯島 一志 議員(7ページ)

- ○大島地区のほ場整備事業と産業団地造成について
- ○空き家バンクについて

平井 玲子 議員 (7ページ)

- ○子育て支援について
- 12 ○選挙の期日前投票宣誓書について

月 6

 \Box

- 池森 のり子 議員(8ページ)
- ○身体障がい者の相談体制の充実について
- ○観光施策の推進と日本遺産の活用について

田辺 純子 議員(8ページ)

○学校給食について

堀口 きく枝 議員(9ページ)

- ○タクシー券の一本化について
- ○帯状疱疹ワクチンの公費助成について

柴田 信 議員(9ページ)

- ○本市の多文化共生及び日本語教育推進法の現在 の状況について
- ○本市において現在進めている農業支援等について

斉藤 貢一 議員(10 ページ)

○コロナ禍における地域活性化について

12 月

7 日

篠木 正明 議員(10ページ)

○職員の定員管理と職員数、会計年度任用職員 について

岩上 博志 議員(11ページ)

- ○中学校運動部活動の地域移行について ○本市小中学校における1人1端末環境(タブレット 学習)の取り組みについて

吉野 高史 議員(11ページ)

- ○市長就任から1年7か月が経過したが、見えてきた 多くの課題や考え方、財政運営面等の方向性について
- ※一般質問通告書の質問事項を掲載

員 今定例会に (が市政全般に対する諸問題について)定例会における一般質問は、12月61 にわたっておりますの で市 その の所信をただしまし 7 ⊟)要旨を掲載 の2日間に (1 たします。 わたり行 ゎ



スマートフォンや タブレットからも 視 聴 できます!

https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html 市議会トップページ→





←ライブ&録画映像配信はこちら

https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html なお、各議員の質問の様子は、次のページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。

、本文は質問者本人が要約したもの

会議録の検索はこちら➡

10

0

https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html 市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。 ※12月定例会の会議録は、3月上旬に掲載の予定です。



婦に対して家庭訪問を実施

期日前投票宣誓書につい

7

平井

玲子 議員

子育て支援と

子育て支援につい

り課題をお尋ねします。

についてお尋ねします。

増加が予想され、マンパワ

の不足が大きな課題であ

答弁面談時間や業務量の

質問 妊娠期・産前の支援

答弁。本市の最大の特色と

妊娠8か月頃の全妊

ると認識しています。

付金事業を実施するに当た

質問出産・子育て応援交

ねいに応じています。 困り事などの相談にも



大島地区 空き家バンクについて 区 のほ場整備 • 産 業団 地と

飯 島 志 議 員

質問。ほ場整備事業決定後

から現時点までの進捗状況

上げて、 計画策定を進めているとこ 土地改良準備委員会を立ち について伺います。 答弁 耕作者を中心とした ほ場整備後の営農

について伺います。 質問 今後のスケジュール

> までの4年間を工事期間と うち令和8年度から11年度 業期間として、また、その ら12年度までの6年間を事 書を作成し、令和7年度か 成の青写真となる事業計画 して予定しています。 答弁 令和6年度には、

造成が始まるのか、今後の 質問いつ頃、産業団地の

> ます。 スケジュールについて伺い

事を開始、7年度末には、 を予定し、その後、 進めているところです。 ることを目指して、 から順次分譲の開始ができ 造成工事が完了したエリア すと、令和7年度に造成工 地の取得、 答弁現在の予定となりま 令和6年度の早い段 市街化区域への編入 順調に進捗しま 事業を 事業用

の状況について伺います。 質問・現在の本市の空き家

てナビ」がありますので、 では面談だけで申請が済む を記入・提出でき、市役所 マホで妊娠届とアンケート きるようになりました。ス の母子手帳の交付申請がで 北九州市は、アプリから紙 てほしいと思います。また 事業を実施することも考え センターの管轄を分割して かたちです。本市には「ぽ んちゃんの予防接種・子育 要望子育て世代包括支援

> なっています。 30戸で、大島地区は35戸と も少ないのが三野谷地区の 地区が385戸と続き、 六郷地区が471戸、館林 答弁 令和2年度の調査時 1376戸となって 地区別では多い順に 最



実際の空き家の様子

高まったと考えています。 よって期日前投票の割合が での期日前投票所の増設に 方の増加、 組による選挙割を利用する な活用のお願い、 期日前投票宣誓書について ているのか、お尋ねします いる要因をどのように考え いくよう要望します。 質問現行のハガキ形態を 答弁 期日前投票の積極的 質問期日前投票が増えて アゼリアモール 民間の取

> 加させるための今後の取組 について伺います。 質問。空き家の利活用を増

ど、様々な取組が必要と考 録を促すための新規事業な 金といった空き家バンク登 を活用した空き家バンクの 動産業者との連携、SNS ると考えています。今年度 対する働きかけが必要であ えています。 実施しました。今後は、不 答弁所有者や関係団 空き家見学会を初めて 家財処分に係る補助

誓書を印刷し、事前に記入 生かして入場券の裏面に宣 更していきたいと考えます。 誓書を併記した入場券に変 誓書となっているものもあ の統一様式の中に裏面が宣 化することになります。こ 標準仕様書が総務省より示 簿の管理システムについて たが、今年に入り選挙人名 などのハードルがありまし スペースやシステム改修費 導入についての考えは。 できる宣誓書付き入場券の **答弁** ハガキに掲載できる この機会に合わせて宣 入場券を全国で統

しながら活用の幅を広げて 他の自治体の事例も参考に



観光施策 身体障が い者 日本遺産について問う の相 談 体制

池 森 0) り子

員

者による相談体制が整備さ いましたが、その後、 24年度から9年間実施して からの相談に応じるため、 いて伺います。 答弁。障がい者本人や家族 名の相談員により、 平成 事業 質問 相談体制の充実に向

廃止となりました。 続いたため、令和2年度で 談員への相談がない状態が

た身体障がい者相談員につ

質問 本市に設置されてい

います。 けた今後の方針について伺

術向上などの体制整備を要 営する社会福祉法人等に対 答弁 相談支援事業所を運 相談員の増員や相談技

れたことから、

障がい者相

びつけていくのかが大きな 進し、 課題であると受け止めてい って、 望しています。また、 ますが、観光施策について など相談者に寄り添ったて 窓口でも相談室を使用する いねいな対応を行います。 質問 観光施策をいかに推 本市の経済発展に結 交流人口の拡大をも 市

3市を巡る「日本遺産モニ 市・足利市と共催した両毛 協議会の主催により、 の考えを伺います。 答弁市「日本遺産」 桐生 推進

> 連携の提案を行っています けに企画し、広域的な誘客 ターツアー」を旅行会社向

を設置する方法もあると思 あり、こうした分かりづら は必要と考えています。 境を整えるためにも案内板 に向けて、おもてなしの環 を訪れていただいたお客様 くPRするとともに、 い場所から優先して案内板 長良神社や織姫神社などが イン通りから奥まった所に に構成文化財の中には、メ 質問本市の日本遺産を広 本市 特

算を行っています。 たいと考えています。 るとともに、 他市町村の情報収集に努め 第3子以降無料化などの試 以降無料化、 と今後の取組を伺います。 完全無料化に向けての検討 答弁 完全無料化や第2子 動向を注視し 第2子半額 今後、

と強く思います。次に、学 を前に進めていかなくては なるためにも、完全無料化 見ると、 若い子育て家庭の状況等を 質問近隣自治体の状況、 選ばれる自治体に

学び、成長していくために、

とあります。どの子も共に

7つの目標が定められてお

れますので、本市における

る何よりの手立てと考えら 社会全体で子育てを支援す

質問学校給食法第2条に

料化に取り組んでいます。 の自治体が給食費の一部無 町となり、 が太田市、

その他ほとんど

みどり市、

板倉

教育は、これを無償とする」

憲法第26条第2項に「義務

度の予定も含め完全無料化

の現状を伺います。

質問・近隣自治体の無料化

オー

ガニック化について

田 辺

純子

議員

学校給食費の完全無料化

ع

答弁東毛地域では、

来年

は教材で、教育の一環です。 関わるものです。学校給食 り、そのうち5つが食育に

> 状を伺います。 ついて、本市の捉え方や現 校給食のオーガニック化に

でも、これからの大事な未 の健康と食の安全を守る上 進めることは、子どもたち 戦略」を策定し、 食料システムの構築に向け 難しい現状にあります。 らない課題が多く、 を奨励しています。 いては、解決しなければな て、「みどりの食料システム 答弁オーガニック化につ 質問)農水省は持続可能な 有機農業 これを 実現は

> 得られたものから、 来の課題です。そこで、市 考えています。 事業を推進していきたいと 市長の考えを伺います。 けた今後の方針について、 備を検討していきます。 民間から設置場所の提供を しながら、必要性が高く、 案内板設置のニーズを調査 成文化財につきましては、 いますが、考えを伺います。 つ、時代のニーズに合った 答弁 地域特性を生かしつ 質問観光施策の推進に向 民間所有の構 順次整

と考えています。 の可能性を探っていきた 材の導入については、 りません。オーガニック食 て支援を推進しなければな 優先順位も考慮して、子育 すが、限られた予算の中で 果的な政策の一つと思いま 費を無料化することは、 負担を軽減するため、給食 やオーガニック食材の導入 長に、学校給食費の無料化 についての考えを伺います。 答弁子育て世帯の経済的 効

方を理解する補助教員につ

日本語以外を用い

答弁外国語と日本語の両

考えについて伺います。

語の両方を理解し、学習指 いて、今後、日本語と外国

質問本市の小中学校にお

農業支援等について

柴田

信

議員

本市の多文化共生の状況と

導ができる教員を拡充する

児童生徒にとって大きな支 て指導ができることから、



帯状疱疹ワクチンの公費助成につ タクシー券の一 本化と いて

きく枝 議員

シー券には、 用の要望が、 シー券には、 あるのか、 タクシー券の一本化 く継続的な支援の要望があ について、どのような声が 質問の種類のタクシー券 枚数の拡充、複数枚利 高齢者通院等タク お尋ねします。 免許返納タク 一度限りでな 補助金額の増

お尋ねします。

数を増やす考えはないか、

特に要望がない状況です。 り、いきいきタクシー券には、 質問。タクシー券の交付枚

検討を深めていきます。 交付枚数の在り方について 実証実験による分析を行い **ー券においては、引き続き** 答弁。高齢者通院等タクシ

> いく中で、3種類のタクシ ―券を一本化していく考え 質問福祉向上を目指して お尋ねします。



祉課、 助成制度検討委員会を設置 化を図る目的で、タクシー タクシー券制度の集約一元 れぞれ担当している煩雑な て支援課の複数の部署でそ 高齢者支援課、 安全安心課、 社会福 子育

> 要望します。 加と一本化を推進するよう タクシー券の交付枚数の増 し検討を進めています。 要望市民の皆様のために

成について 帯状疱疹ワクチンの公費助

疲

すると言われています。 労、ストレスなど免疫力低 (答弁) 日本では2種類の使 いてお尋ねします。 状疱疹ワクチンの内容につ 歳までの3人に1人が発症 下が原因で特に50歳から80 質問帯状疱疹は加齢、

けて努めていきたいと考え 支援体制の充実に向

用等、

ています。

質問本市の農業における

2億84万5000円、 面積は225・4ヘクター 80万5000円で、その 本市の被害総額は2億24 6月2日の降ひょうによる 援対策等について伺います。 対応状況、また、今後の支 答弁 今年5月27日及び 農作物の被害金額は

より、 に要する費用、 ための肥料代、 額は2396万円、 ル、被害戸数は178戸、

ていきたいと考えています。

用は1回当たり約2万30 状疱疹及び関連死亡、 00円前後となります。 な帯状疱疹ワクチンで、 もう1つは2回接種が必要 は1回接種の水痘ワクチン 症を減少させるとともに、 広く接種を行うことで、 要望 帯状疱疹ワクチンは が承認されており、 費用は約1万円前後、 1 つ 費

よう、 知の推進を要望します。 の理解を深めていただける 保険や各種共済等の制度へ 加入助成を行っている収入 災害の発生に備え、本市で ところです。今後は、 ます。帯状疱疹ワクチンへ 医療費の抑制にもつながり の助成とワクチン接種の周 周知及び啓発を行っ



がら、 応できる人材の積極的な任 がら、アジア圏の言語に対 携するとともに、県教育委 ガル語、 助手がスペイン語、 現在は、2名の日本語指導 援になると考えています。 員会との情報交換も図りな 指導にあたっていま 中国語を活用しな 関係機関等と連 ポルト 災害による被害やその後の 降ひょう、台風などの自然

する支援事業を進めている び被災したビニールハウス の種苗費等への助成措置及 置条例が適用されたことに 県の農漁業災害対策特別措 また、農業用施設の被害金 害に対する支援策としては 被害棟数は80棟でした。被 張替えなどの再建築費用 一部補助を県と市で負担 被害農作物の回復の 次期作付け 病害虫防除



地域 奨学金制度について コミュニティ しと

斉藤 貢 議 員



重要であり、これらの支援 術を活用した体制づくりが の弱体化が進んでいるが、 において、行政区や諸団体 体制を強化し、 支援策は。 質問 地域コミュニティー 答弁市当局との連携を含 デジタル等の新しい技 地域コミュ

> 求めている活動は多岐にわ げたいと考えています。 たっているが、その負担の 質問市が行政区へ協力を

考える仕組みづくりの研究 しても地域の負担軽減を念 各種委員等の推薦につきま や、行政区に依頼している 答弁 地域と行政が一緒に

ニティー活動の推進につな

頭に改善に取り組みます。 究したいと考えています。 長期的な見通しを持って研 応えられると思うので、中 度から、コミュニティーセ ンターへの移行の考えは。 質問制限の多い公民館制 答弁)施設利用の幅が広が より利用者のニーズに

備に配慮し、周知時期、募 じるが、現状の認識は。 また、決定時期が遅いと感 貸与要件が不明確であり、 質問本市奨学金制度では 答弁)昨年度より、進学準

す。広域連携が必要な中、 の奨学金を始めたと思いま 型奨学金制度の創設を提案 がら研究していきます。 ては、受験生に寄り添いな した。貸与の前倒しについ なければならない問題と思 給食費無料化とともに進め 条件付きで板倉町も給付型 集要項の配布時期を早めま してきました。今年度から 質問 私は以前から、給付

材の地元定着の観点から、 答弁地方創生や有能な人

いと考えています。

うが、その考えは。

う会計年度任用職員(臨時 すべての都道府県の会場で 495人で、すべてがパー 者の採用を実施しています 環境を作ってきました。ま 1次試験を受験できるよう トタイムとなっています。 にするなど、受験しやすい **答弁** 会計年度任用職員は 質問職員が少ないのを補 **答弁** オンライン説明会や 年度途中に社会人経験 は何人いるのですか。 なぜ、フルタイムの

います。

用職員は短時間勤務として との考えから、会計年度任 の職は常勤職員が担うべき 非常勤であり、フルタイム ないのですか。 答弁 会計年度任用職員は

会計年度任用職員につい

7

篠木

正明 議員

職員の定員管理と職員数、

め、 館しなければならないた す。公民館は正職員1人と 職員の任用もあると思いま 非常勤2人で、 フルタイムの会計年度任用 っているのを補うために、 質問常勤職員が定員を割 1人勤務や超過勤務が ほぼ毎日開

会計年度任用職員を任用し

査研究し、関係部局と協議 来年度の予算化に向けて調 財源等の

送った次第です。 ても可能性を探っていきた 点から研究していくととも 整を図りながら、様々な観 できるよう働きかけてもら 課題もあり、予算要求を見 を行いましたが、 いたいが、その考えは。 ただき、給付金制度が実現 質問がひ予算要望してい 答弁一今後も関係部局と調 奨学基金の活用につい

討したいと思います。 ています。フルタイムの会 能な限り速やかな対応を検 考えていかなければと思い 度の趣旨を考えると慎重に で超過勤務を減らせると思 正職員の超過勤務が発生し が30分短いだけの人もおり、 正職員より一日の勤務時間 いますが、 計年度任用職員にすること 会計年度任用職員の中には 発生しています。保育士の 答弁。会計年度任用職員制 欠員については、 いかがですか。

員管理の職員定数を645 質問、集中改革プランで定

4人となります。 ないのは令和4年度の62 年度の640人で、 最も多い職員数は、平成23 (答弁) 集中改革プラン後、 最も少

どのように推移してきたの 人としましたが、 職員数は

ですか。

きたのですか。 ため、どんなことを行って るのですか。 管理の職員数にする気はあ 指して努めてきました。 ないのですが、本気で定員 答弁 定数の645人を目 質問集中改革プラン後、 度も定員に達したことが 定員の職員数にする

は議員として大切な仕事」 うに通すこと」「一般質問 議し市民生活が困らないよ 仕事は予算案をしっかり審 先輩議員から「最も大切な

と教えられた。初当選した

皆さんは

「正々どんどんと

情報発信をしてください.

般質問を行い、

市民への

質問 私が初当選した時に



中学校部活動 1端末環境の取組につい の地域移行 7

博志 議員

係職員及び市教委関係職員 11月15日に、市内中学校関 態把握に努めました。また、 象に意識調査を実施し、 部活動顧問及び副顧問を対 ているのか伺います。 部活動の地域移行について 捗状況は、どのようになっ 質問部活動地域移行の進 答弁 9月に、 市内中学校 実

質問各顧問への意識調査

図れるよう努めました。 開催し、地域移行の意義や 課指導主事による研修会を 方向性について共通理解が を対象に、 県教委健康体育

域移行した際に、指導に携 わりたいか」という問いに の結果について伺います。 答弁)「休日の部活動が地

> 題について伺います。 課題の一つとなっています。 4%という回答となってお 対し、「携わりたい」が15 質問 指導者確保以外の課 指導者の確保は大きな ては、児童生徒への教材提 の現状について伺います。 の記述を教師に提出するこ 示だけにとどまらず、 過したが、1人1端末環境 答弁 端末の活用場面とし

を整備していくことです。 減。 3点目が受皿等の環境 目が保護者の経済的負担軽 理解を得ていくこと。 2点 保護者等への周知を図り、 答弁
大きく3点課題があ 1点目が児童生徒及び チャーとオンラインで意見 で確認して考えを深めたり とで、全員の意見を画面上 わたっています。 交流したりするなど多岐に 遠隔地にいるゲストティー 質問・小学校1、2年生に

1人1端末環境の取組

質問。導入から1年半が経

ないことによるデメリット

1人1端末が配備されてい

に至っては36万円に対し1 00万円、田山花袋記念館 ルは740万円に対し45 00万円、三の丸芸術ホー 万円の売上に対し1億28 質問 文化会館は1200

本市の方向性につい 行財政運営につい

7

7

吉野

高史

議員

公共施設の維持 改革の推進等、 200万円かかっている。 人で知恵を出せば何とかな これをどう改善するのか。 質問職員の皆さん600 答弁。業務の見直しや行政 答弁)集客を増やせるよう 々な検討をしています。 知恵を出していくには。

> 35自治体中35位。 どのよう 財政を圧迫する比率です。 が負担する割合で、将来の 政運営に努めていきます。 に改善していくのか。 答弁新たな市債を抑え、 質問 将来負担比率は県内 答弁収入に対し将来、 質問将来負担比率とは。 市

億円あるが、どうするのか。 合を合わせると、約430 に一部事務組合での負担割 質問市債が一般会計の他

効率的な行

ルは、早い段階から取り組 が必修化されたことから、 きたいと考えています。 配備できるよう努力してい ています。低学年児童にも 身につきやすくなると感じ ませることによって児童に 必要となるICT活用スキ について伺います。 答弁プログラミング学習

各自

端末配備を要望します。 学習が行えるというメリッ となった際に、オンライン トもあるので、一刻も早い 要望コロナ禍で学級閉鎖

いきます。 ことではなく、 めています。今に始まった 要望ずさんな行政運営の 答弁大変な質問と受け止 努力をして

DNAを一刀両断する本当

に対応していきます。 がブーメランのように自分 を敷いた内容だ。チェンジ あったが、前市長がレール の行政改革を要望する。 に返ってこないためには。 答弁市民ニーズの多様化 質問選挙公約のチェンジ ~5の進捗状況の答弁が

を推進していきます。

施設の延命等、行財政改革

費の増加、 管理費等が要因です。 続いているが、原因は。 県内35自治体中30位前後が どの収入と固定的な経費の 経常収支比率の意味合いは。 答弁 高齢化等による扶助 質問 比率は毎年97~8%。 人件費等や借金の比率です。 答弁) 市税や地方交付税な

(5.2.1)

託 された案件 は、

保健福祉部から

総 務 文 教

常

任

委員会

の

審

報

告

林市付 5件で、採決の結果、 部を改正する条例」の議案 例」「館林市基金条例の一 林市職員の退職手当に関す 例の整備に関する条例」「館 と議決されました。 案のとおり可決すべきもの 案とも全員一致をもって原 る条例の一部を改正する条 る法律の施行に伴う関係条 る法律施行条例」「館林市個 万公務員法の一部を改正す (情報保護審査会条例) 「地 個人情報の保護に関す 5議 の裏付けがないことから、 をも求めていることは財源 見ると、非常に厳しいうえ とは、現在の経済情勢から 担で行うべきとしているこ た後に審査に入り、委員か 審査では、 に、保険料などの負担軽減 ら、「費用の全てを国の負 の参考意見の陳述がなされ

どれほど現場の励みになる 思いを酌み取り、 に改善する必要があること かなり低い現状であり、そ 予算はOECDの平均より また、「現場は大変な状況 かを痛感していることから 意見を国にあげることが、 にあるにも関わらず、国の 不採択すべき」との意見が ような国の予算を抜本的 現場の大変さを理解し、 支援する

条例」

館林市福祉医

療費

設置条例の ついては、

部を改正する

2件と請願1件で、

議案に

館林市立学校

付託された案件は、

市

福

祉

決されました。

条例」で、 する条例の 療費助成条例の 助成条例及び館林市

採決の結果は、

部を改正する

部を改正

福祉医

2議案とも全員一 遇改善を求める請願書」 て原案のとおり可決すべき 介護実現のため人員増と処 ものと議決されました。 また、「安全・安心の 致をも 医 療 0

済 建

と議決されました。

数により不採択すべきもの

採決の結果、

賛成少

採択すべき」との意見がな

について」「市道850 号線ほか3路線の路線認定 について」「市道2077 号線ほか5路線の路線廃 とおり可決すべきものと議 も全員一致をもって原案の 調査を行った後に審査に入 説明を受け、それぞれ現 議案とも、まず、当局 の議案4件が付託され、4 号線の路線認定について」 する条例」「市道2077 ・ミナル条例の一 館 採決の結果、 林 市 サイクリング 4議案と 部を改 から



市道 8505 号線の現地調査

議会傍聴者の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、傍聴に来られる皆さまにおかれ ましては、マスクの着用や傍聴席入口において、消毒液による手指の消毒など、 感染防止対策にご協力をお願いいたします。

【3月定例会の予定】

3月 3日(金) 本会議=会期の決定、議案提案説明など

6日(月) 本会議=議案に対する質疑、委員会付託など

7日(火)・8日(水)本会議=一般質問

9日(木)・10日(金) 委員会=常任委員会(総務文教・市民福祉・経済建設)

14 日 (火)·15 日 (水)·16 日 (木) 委員会=予算特別委員会

22日(水)本会議=表決

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。 ☆一般質問の通告順位表は、3月1日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。 (https://www.city.tatebayashi.gunma.jp ⇒市議会をクリックし